

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- [25979] バゾプレシン(AVP)

受託開始日

- 平成26年1月4日(土)

バゾプレシン (AVP)

抗利尿ホルモンは下垂体後葉より分泌され、9個のアミノ酸で構成されるペプチドホルモンです。ヒトの場合は8番目のアミノ酸がアルギニンなので、一般的にアルギニンバゾプレシン (AVP) と呼ばれます。

AVPは腎の尿細管に作用し、水の再吸収を促す働きを持ち、血漿浸透圧や血圧、体内の血液量などにより調節されています。

尿崩症は多飲および尿量の異常な増加 (3,000mL/日以上) を伴う疾患ですが、中枢性 (下垂体性) と腎性の二つに大別されます。AVP分泌低下症は中枢性尿崩症を引き起こす原因となるため、AVPの測定は下垂体性および腎性尿崩症の鑑別に必要とされます。また、ADH不適合分泌症候群 (SIADH) はAVPが多量に分泌されるために水が過剰に貯留し、低Na血症および低浸透圧血症を発症する疾患です。

これらの疾患の診断には血漿AVPの測定が重要とされています。

検査要項

項目コード	25979
検査項目名	バゾプレシン (AVP)
検体量/保存方法	EDTA血漿 2.2mL/凍結 [容器番号: 14番 (EDTA-2Na採血管) →02番 (提出容器)]
検査方法	RIA (二抗体法)
基準値	4.2pg/mL以下
所要日数	5~7日
検査実施料	235点 ([D008] 内分泌学的検査 [26] 抗利尿ホルモン (ADH))
判断料	144点 (生化学的検査 (II) 判断料)
備考	溶血と乳ビの影響により、測定値が高値となる可能性があります。

※本検査の解釈上の注意

- バゾプレシン分泌低下症 (中枢性尿崩症) の治療に用いられるデスマプレシン (DDAVP) 投与中の患者では検査結果が高値になるため、使用できません。
- 平成24年3月末をもって検査受託を中止致しました [00911] バゾプレシン (AVP) とは検体量 (新法では尿は検査不可) ・報告下限値 (旧法: 0.15pg/mL→新法: 0.8pg/mL) 等の検査要項が異なりますのでご注意ください。

参考文献

大磯ユタカ, 他: 日本内分泌学会誌, 62, 608~618, 1986.

バゾプレシン分泌低下症 (中枢性尿崩症) の診断と治療の手引き (平成22年度改訂)

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 間脳下垂体機能障害に関する調査研究班 平成22年度 総括・分担研究報告書, 155~157, 2011.